



【令和7年度の結果】

- 自動車交通量はライトライン導入前から比較すると減少しており、直近の令和6年度と令和7年度の交通量等を比較すると、**変化量は少なくなっているが、減少傾向は継続**している。
- 自動車交通量の減少などに伴い、所要時間の短縮、及び、旅行速度の向上が見られ、**自動車の走行性が向上していることを定量的に確認することができた。**

- 
- ライトラインの導入、宇都宮テクノ街道や産業通り等の道路整備などが複合的に起因し、自動車交通量の減少や、所要時間の短縮、旅行速度の向上などに一定の効果が現れたと推察される。

【今後の取組】

- 
- 宇都宮テクノ街道や産業通りの4車線化などの道路整備が進められていることから、引き続き、**自動車交通量や旅行速度等について調査・分析し、当該地域において交通全体の利便性が向上されたかを確認していく。**